



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクロール
 コード番号 8005 URL <https://www.scroll.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴見 知久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括部長 (氏名) 杉本 泰宣 TEL 053-464-1114
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	20,768	△4.9	2,019	△31.7	1,955	△34.4	1,324	△34.1
2022年3月期第1四半期	21,836	—	2,954	—	2,979	—	2,009	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,338百万円 (△32.3%) 2022年3月期第1四半期 1,978百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	37.98	—
2022年3月期第1四半期	57.63	—

(注) 2022年3月期第1四半期については「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等の適用初年度となるため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	49,600	29,487	59.5
2022年3月期	49,711	30,037	60.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 29,487百万円 2022年3月期 30,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	54.50	64.50
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	3.2	5,700	△18.6	5,800	△18.3	4,000	△28.4	114.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	34,887,050株	2022年3月期	34,873,050株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	7,542株	2022年3月期	7,381株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	34,865,766株	2022年3月期1Q	34,866,174株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料は、2022年7月29日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うまん延防止等重点措置等による行動制限が解除されたことに伴い、経済活動の正常化に向けた動きがみられるものの、原材料価格や資源価格の上昇に加え、為替相場の急激な変動、ウクライナ情勢の長期化等の影響により、先行きは依然として不透明な状況となっております。小売業界におきましては、仕入価格や資源価格等のコストの増加に加え、物価の上昇に伴う消費マインドの低下により、厳しい経営環境となっております。通販業界におきましては、業種・業態を越えた競争が激化しております。

このような環境のなか、当社グループは「DMC (Direct Marketing Conglomerate) 複合通販企業の変容と進化」をテーマとする中期経営計画「Next Evolution 2024」において、「第二次DMC複合通販経営の推進」及び「Responsibility経営の取組み強化」を二大重点方針として掲げ、売上成長と収益性向上の両立に向けて各事業セグメントのビジネスモデルの進化を図るとともに、環境・社会課題の解決に向けた取組みを推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高20,768百万円（前年同四半期比4.9%減）となりました。利益面におきましては、営業利益2,019百万円（同31.7%減）、経常利益1,955百万円（同34.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,324百万円（同34.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

前連結会計年度まで、6つの報告セグメントにて事業を展開してまいりましたが、当第1四半期連結会計期間より、経営の効率化を図るため、従来の「化粧品事業」及び「旅行事業」セグメントを「HBT (Health & Beauty & Travel) 事業」セグメントとして統合し、5つの報告セグメントへと変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」をご参照ください。

なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

① 通販事業

通販事業におきましては、巣ごもり消費の反動減の影響に加えて、行動制限の解除に伴う購買行動の変化や上海のロックダウンの影響を受けたものの、概ね期首計画どおりに推移いたしました。また、引き続き商品調達方法の見直しによる原価率の低減や効率的なカタログ配布など、事業効率の最大化に向けた取組みを進める一方、新たなSDGs商品やサステナビリティサービスの展開にも取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は10,836百万円（前年同四半期比11.7%減）となり、セグメント利益は1,772百万円（同30.6%減）となりました。

② ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、拡大を続けるEC・通販市場において、物流代行サービスにおける新規クライアントの稼働開始や、SLCみらいに加え、新たな物流センターとなる「SLC春日部」を開設するなど、物流代行サービスの業容の拡大を進め、全国通販3PL戦略の推進に取り組んでまいりました。また、決済代行サービスやマーケティングサポート事業につきましても、堅調に推移しております。

以上の結果、売上高は5,123百万円（同16.7%増）となり、セグメント利益は126百万円（同17.5%増）となりました。

③ eコマース事業

eコマース事業におきましては、オリジナル商品の開発や最適な商品調達ルートの開拓などに努めてまいりましたが、アウトドア・キャンプ用品において業種・業態を越えた競争が激化していることに加え、ブランドバッグ等の外出用商材の需要が回復していないことの影響を大きく受けました。

以上の結果、売上高は5,089百万円（同5.2%減）となり、セグメント利益は33百万円（同78.1%減）となりました。

④ HBT事業

HBT事業におきましては、化粧品・健康食品ビジネスにおいて、新規顧客獲得に向けた新たな商材の営業活動を強化いたしました。また、旅行ビジネスにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が一巡したことにより、徐々に回復の兆しをみせているものの、引き続き不透明な状況となっております。なお、2022年3月に化粧品子会社2社の保有株式を売却したことに伴い、売上高が減少しております。

以上の結果、売上高は341百万円（同39.4%減）となり、セグメント損失は40百万円（前年同四半期はセグメント利益72百万円）となりました。

⑤ グループ管轄事業

グループ管轄事業におきましては、自社保有物流施設等の不動産賃貸、当社グループの物流オペレーション及び海外子会社の管理を行っております。物流オペレーションにおいては、東海・関西・関東エリアにおけるオペレーション強化を進め、新規クライアントへの対応を含め、安定的な運営体制の構築に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は859百万円（前年同四半期比1.0%増）となり、セグメント利益は44百万円（同55.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は49,600百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金の減少、売掛金の増加、棚卸資産の増加によるものであります。

(負債)

負債は20,112百万円となり、前連結会計年度末に比べ438百万円増加いたしました。この主な要因は、未払法人税等の増加、買掛金の増加、未払金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は29,487百万円となり、前連結会計年度末に比べ549百万円減少し、自己資本比率は59.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月10日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました2023年3月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,142	4,569
売掛金	11,403	13,090
棚卸資産	8,185	9,450
その他	5,916	5,717
貸倒引当金	△415	△439
流動資産合計	32,233	32,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,866	6,787
土地	5,520	5,520
その他(純額)	1,149	1,088
有形固定資産合計	13,537	13,396
無形固定資産		
のれん	85	74
その他	806	782
無形固定資産合計	892	857
投資その他の資産		
その他	3,437	3,362
貸倒引当金	△388	△405
投資その他の資産合計	3,048	2,957
固定資産合計	17,477	17,211
資産合計	49,711	49,600
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,963	3,315
短期借入金	75	50
未払金	7,241	7,007
未払法人税等	228	596
引当金	481	309
その他	1,061	1,190
流動負債合計	12,051	12,470
固定負債		
長期借入金	6,000	6,000
引当金	57	56
退職給付に係る負債	1,403	1,419
その他	160	165
固定負債合計	7,621	7,641
負債合計	19,673	20,112

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,018	6,024
資本剰余金	6,644	6,650
利益剰余金	16,726	16,150
自己株式	△4	△4
株主資本合計	29,385	28,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	464	409
繰延ヘッジ損益	150	209
為替換算調整勘定	37	47
その他の包括利益累計額合計	652	666
純資産合計	30,037	29,487
負債純資産合計	49,711	49,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	21,836	20,768
売上原価	13,273	12,792
売上総利益	8,563	7,975
販売費及び一般管理費	5,608	5,956
営業利益	2,954	2,019
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	25	25
その他	6	14
営業外収益合計	37	44
営業外費用		
支払利息	8	5
為替差損	2	102
その他	1	0
営業外費用合計	12	108
経常利益	2,979	1,955
特別損失		
固定資産除却損	0	3
投資有価証券売却損	—	2
特別損失合計	0	5
税金等調整前四半期純利益	2,979	1,949
法人税、住民税及び事業税	741	569
法人税等調整額	228	55
法人税等合計	970	625
四半期純利益	2,009	1,324
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,009	1,324

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	2,009	1,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△55
繰延ヘッジ損益	△44	59
為替換算調整勘定	14	10
その他の包括利益合計	△30	14
四半期包括利益	1,978	1,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,978	1,338
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	通販事業	ソリューション 事業	eコマース 事業	HBT事業	グループ 管轄事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	12,271	3,714	5,289	559	2	21,836	—	21,836
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	4	676	77	4	849	1,612	△1,612	—
計	12,275	4,390	5,367	564	851	23,449	△1,612	21,836
セグメント利益	2,554	107	151	72	100	2,987	△7	2,979

(注) 1. セグメント利益の調整額には、未実現利益等△7百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	通販事業	ソリューション 事業	eコマース 事業	HBT事業	グループ 管轄事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	10,835	4,520	5,067	339	5	20,768	—	20,768
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	0	602	21	2	854	1,482	△1,482	—
計	10,836	5,123	5,089	341	859	22,250	△1,482	20,768
セグメント利益 又は損失(△)	1,772	126	33	△40	44	1,935	19	1,955

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、未実現利益等19百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、経営の効率化を図るため、従来の「健粧品事業」と「旅行事業」を統合し、「HBT(Health & Beauty & Travel)事業」としております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。